

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業(交差点改良事業)				
地区名	一般県道 <small>こうぞうじこまき</small> 高蔵寺小牧線				
事業箇所	春日井市 <small>ももやま</small> 桃山町地内				
事業のあらまし	<p>本路線は、この地域の東西の主要な幹線道路であり、大動脈である国道19号と国道41号を結ぶ道路であるとともに、名神高速道路と中央自動車道が接続する小牧JCT周辺も通過しており、沿線には工場が多数立地している。</p> <p>当該交差点は右折帯が設置されておらず、交通事故が多発する箇所であるとともに、直進車が右折車に阻害され、朝夕に著しい渋滞を引き起こしている。</p> <p>こうした背景から、本事業は交通事故の削減及び交通円滑化を目的として、交差点改良を行うものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>① 交通事故の削減</p> <p>② 交通円滑化</p> <p>【副次目標】(必要に応じて記載する)</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2007年度)	再評価時 (2022年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2007年度～2009年度	2007年度～2022年度	用地交渉の難航によるもの	
	事業費(億円)	2.5	4.8		
	経費内訳	工事費	1.1	1.1	
		用補費	1.3	3.6	かさ上げ補償の追加により補償費が増大
その他		0.1	0.1	—	
事業内容	交差点改良工事 延長 L=220m 幅員 W=16.0m	交差点改良工事 延長 L=220m 幅員 W=16.0m	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該交差点は右折車線が設置されておらず、交通事故が多発する箇所であるとともに、直進車が右折車に阻害され、朝夕に著しい渋滞を引き起こしている。</li> </ul> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該交差点は交通事故が5件(H29～R02)発生している。</li> <li>・自動車交通量については、事業採択時の7,503台/12h(H17 センサス)から再評価時は7,618台/12h(H27 センサス)に若干増加しているが、大きな変動はない。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路など周辺状況、交通量等に大きな変動はなく、引き続き交通事故の危険解消と交通の円滑化を図る必要がある。</li> </ul>			

判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																									
	<p>【理由】</p> <p>事業着手時の課題が依然とあり事業の必要性があると判断されるため。</p>																																																																										
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1997~2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="6"></td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">4.5</td> <td colspan="2"></td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">4.5</td> <td colspan="2">0.3</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>				1997~2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計	工種区分	調査・設計	←									用地補償	←							→		工事	←							→		事業費(億円)	前回計画	2.5								2.5	実績			4.5						4.5	今回計画			4.5				0.3		4.8
			1997~2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計																																																																
工種区分	調査・設計	←																																																																									
	用地補償	←							→																																																																		
	工事	←							→																																																																		
事業費(億円)	前回計画	2.5								2.5																																																																	
	実績			4.5						4.5																																																																	
	今回計画			4.5				0.3		4.8																																																																	
<p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>—</td> <td>0.12</td> <td>—</td> <td>0.22</td> <td>54.5</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>—</td> <td>4.5</td> <td>—</td> <td>4.8</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>—</td> <td>1.1</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>—</td> <td>2.9</td> <td>—</td> <td>3.2</td> <td>90.6</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>—</td> <td>0.1</td> <td>—</td> <td>0.1</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>*用地取得率(面積ベース)は約83%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度までに、事業区間220m内、120mの整備が完了している。</li> <li>・主な残工事は交差点南側の工事。</li> </ul>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	—	0.12	—	0.22	54.5	事業費(億円)	—	4.5	—	4.8	93.8	工事費	—	1.1	—	1.5	73.3	用補費	—	2.9	—	3.2	90.6	その他	—	0.1	—	0.1	100.0																																	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																							
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																						
延長(km)	—	0.12	—	0.22	54.5																																																																						
事業費(億円)	—	4.5	—	4.8	93.8																																																																						
工事費	—	1.1	—	1.5	73.3																																																																						
用補費	—	2.9	—	3.2	90.6																																																																						
その他	—	0.1	—	0.1	100.0																																																																						
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・補償内容や代替地の選定など、用地交渉に時間を要したため。</p>																																																																										
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・補償内容や代替地の選定など、用地交渉に時間を要している。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・補償内容や代替地の選定などに用地交渉に時間を要しているが、引き続き交渉を進め、2024年度までに整備完了を目指す。</p>																																																																										
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																									

②事業の進捗状況及び見込み

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補償内容や代替地の選定などに時間を要することが予想されるが、引き続き用地交渉を鋭意進めることにより令和6年度までに整備完了が見込まれるため。</li> </ul>
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】 事業実施前後の交通状況及び歩行者等の安全性の変化。</p>		

